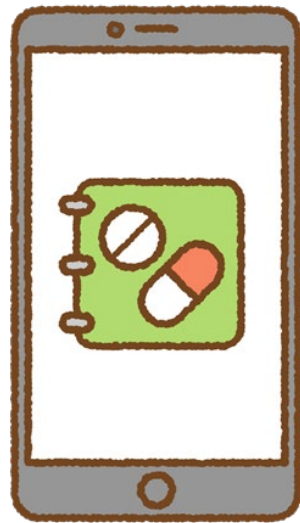


令和5年度の取り組み



- アプリプロトタイプ開発を行った
- アプリのユーザビリティを確認する臨床試験を実施した
- 他疾患へのアプリ開発へも着手を開始し、探索的な臨床試験を実施した



成果



- 臨床試験の結果をもとにアプリの特許および意匠出願を行った
- 臨床試験の結果を英文学術誌へ公表した
- アプリのバージョンアップを行い、その有効性を検証する次なる臨床試験を企画した